

出題分析			
試験時間	75 分	配点	150 点
		大問数	3 題
分量 (昨年比較)	[減少 同程度 増加]	難易度変化 (昨年比較)	[易化 同程度 難化]
<p>【概評】</p> <p>例年通り大問 3 つで構成された。設問数は昨年より増加した。出題形式については、語句記述問題が増加した一方で、正誤判定問題や年代整序問題の分量は昨年とほぼ変わらなかった。例年通り各時代から満遍なく問われ、文化史に関する出題も一定数みられた。また、近代ヨーロッパ史に関する大問は 3 年連続での出題となった。分量はやや増加したものの、昨年に比べて判断に迷う正誤判定問題が少なく、史料読解問題もなかったため、全体的な難易度は昨年よりやや易化したといえる。</p>			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	中国史 (前近代)	設問 1. (f) : 3 の帯方郡と 4 の楽浪郡で迷った受験生がいただろう。楽浪郡は前漢の武帝により紀元前 108 年におかれ、3 世紀初めに公孫氏が楽浪郡を支配したのち、その南部を割いて帯方郡が設置された。リード文の情報から「紀元後 2 年」に存在した郡を選ぶ必要があるため、4 の楽浪郡が正しいとわかる。設問 7. 1・3 : 募兵制と兩税法は、それぞれ唐代の 8 世紀前半、8 世紀後半に定められた。2 : 均田制は北魏の孝文帝の時代である 5 世紀末に始まった。設問 8. 1 : カナートとは、山麓部から堅坑で掘り当てた地下水を、横坑を伸ばして平野部に導く用水路である。4 : 遊牧民が連合して遊牧国家を形成したのであり、オアシス都市は遊牧民ではない。オアシス都市はしばしば遊牧国家の支配下におかれた。設問 9 : 正確な漢字表記で苦戦したかもしれないが、問われている知識は標準的であるため、確実に得点したい。	標準

II	東ヨーロッパ史 (前近代)	全体的に基本事項が問われた。同志社大を志望する受験生であれば、いずれも確実に得点したい。設問 1. (g) : イヴァン 4 世と混同しないように注意したい。設問 5. (b) : グスタフ＝アドルフはスウェーデン王である。設問 7. (b) : エカチェリーナ 2 世は農奴制を強化した。設問 8. ① : ヤギェウォ朝断絶による選挙王政への移行は 16 世紀後半。② : カロロヴィッツ条約は 17 世紀末。③ : 七年戦争は 18 世紀後半。	やや易
III	ヨーロッパ史 (近現代)	設問 1. (イ) : プルードンは著書『所有とは何か』において、「所有とは盗みである」と述べ、私有財産を批判した。コントは「社会学の父」と呼ばれ、実証主義哲学を体系化した。設問 2. (お) : やや難問。ヘルツルはドレフュス事件での反ユダヤ主義に衝撃を受け、シオニズムを提唱した。設問 3. (f) : 下線部 (f) の作家がゾラであるとわかれば、彼の代表作である『居酒屋』を選べばよい。『赤と黒』はスタンダールの作品。『悪の華』はボードレールの作品。『人間喜劇』はバルザックの作品。同志社大の入試世界史では文化史が頻出であるため確実に覚えておきたい。設問 4- (4) . やや難問。 (b) : 中世ヨーロッパの都市において、ユダヤ人は特定の区域に居住を強制され、インノケンティウス 3 世が主催した第 4 回ラテラノ公会議によって、ユダヤ人の印である黄色の記章の着用が義務づけられた。	標準

合格のための学習法

同志社大学の入試世界史は、標準レベルの知識で解答できる設問が比較的多く、極端な難問は少ない。それゆえ、ケアレスミスによる失点をいかに防ぐかがポイントとなる。例年、文化史関連の出題が目立つ傾向にあるため、過去問や資料集等を用いた対策を万全にしたい。また、語句記述問題も毎年出題されるため、漢字用語を正確に書く練習をするのはもちろんだが、カタカナ用語の表記にも気を付けたい。例年、同志社大学は入試講評で受験生の漢字やカタカナ表記に対する注意喚起を行っている。判別できない字は誤答とみなす可能性も示唆しているため、油断しないようにしたい。加えて、同志社大学の入試は解答用紙が独特であるため、特に記号問題は解答欄を間違えないように細心の注意を払ってほしい。